

大梅

DAIBAI

大梅拈華山圓通正法寺

Vol.9
Free Paper

- 正法寺発展興隆奉賛会協賛者御芳名 - (令和元年12月1日~令和2年5月31日まで受付分)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|----------|----------|---------|----------|--------|--------|----------|-----------|-----------|----------|
| 兵庫 第四七番 | 三重 第四〇九番 | 静岡 第三三番 | 神奈川 第三九三番 | 神奈川 第三八番 | 神奈川 第二六番 | 神奈川 第三五番 | 神奈川 第二九番 | 埼玉 第八八番 | 埼玉 第五八番 | 埼玉 第三二番 | 宮城 第四〇二番 | 宮城 第三七六番 | 宮城 第三二番 | 宮城 第二五二番 | 宮城 第九番 | 宮城 第八番 | 岩手 第二四六番 | 北海道 第四〇七番 | 北海道 第二一〇番 | 北海道 第九七番 |
| 永通寺 | 見松寺 | 保蟹寺 | 大船観音寺 | 興禅寺 | 鳳勝寺 | 永珊寺 | 常泉院 | 養牛寺 | 真浄寺 | 東光寺 | 少林寺 | 海蔵寺 | 照源寺 | 福蔵寺 | 禅龍寺 | 大満寺 | 常堅寺 | 真光寺 | 白麟寺 | 寶龍寺 |

令和元年度 正法寺発展興隆奉賛会協賛金決算書

1. 収入の部			
科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 会費	1,500,000	1,410,000	141ヵ寺(名)
2. 協賛金	2,000,000	6,730,000	10口以上 8ヵ寺
3. 繰越金	1,525,200	1,525,200	
4. 雑収入	1,000	5,026	利息他
合計	5,026,200	① 9,670,226	
2. 支出の部			
科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 常什助成金	3,000,000	5,180,350	令和元年度助成金
2. 事務費	50,000	39,079	振込手数料他
3. 営繕費	1,000,000	1,151,067	衆寮ポンプ修理
4. 予備費	976,200	1,008,000	鹿島建物(感知器交換)
合計	5,026,200	② 7,378,493	
3. 差引残額	① - ② = 2,291,733円(次年度繰越)		

令和2年度 正法寺発展興隆奉賛会協賛金予算書

1. 収入の部			
科目	予算額(円)	前年度予算額(円)	備考
1. 会費	1,500,000	1,500,000	150ヵ寺(名)
2. 協賛金	2,000,000	2,000,000	
3. 繰越金	2,291,733	1,525,200	
4. 雑収入	1,000	1,000	
合計	5,792,733	5,026,200	
2. 支出の部			
科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
1. 常什助成金	3,000,000	3,000,000	
2. 事務費	50,000	50,000	
3. 営繕費	1,000,000	1,000,000	消火設備関係費
4. 予備費	1,742,733	976,200	
合計	5,792,733	5,026,200	

- 発展興隆奉賛会事務局からのお願い -

令和元年度決算並びに令和2年度予算を上記に掲載しました。会費・協賛金を賜りました御寺院様への報告とさせていただきます。

令和2年度の会費と協賛金の納入につきましては添付の郵便振替用紙に合計金額と住所、寺院番号、寺院名(氏名)、電話番号をご記入の上、納入下さいますようお願いいたします。

郵便振替払込領収書を本会の領収書に変えさせていただきますことをご了承下さい。

ご不明の点につきましては正法寺内発展興隆奉賛会事務局へお問い合わせ下さい。

Free Paper

正法寺だより「大梅」第9号
令和2年 7月1日 発行
発行 / 大梅拈華山圓通正法寺
〒023-0101 岩手県奥州市水沢黒石町字正法寺129
WEB / shoboji.net
問合せ / 0197-26-4041
Printed in Japan

本誌掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。

令和二年三月、正法寺直末寺院である岩手県関市大祥寺(住職 木村彰良老師)様に全額援助を賜り、惣門下「月泉橋」欄干の修復工事を致しました。

参詣者や来山者の安全が確保され、境内地の景観も綺麗に整いました。

心より御礼申し上げます。

大梅拈華山圓通正法寺



佛前結婚式で式師を務められる山主老師

『大梅』第九号発刊に寄せて

令和も二年目を迎えましたが、まさか年頭に世界中がこのような状態になるとは想像だにしていなかった。

宗教界も様々な形で大きな影響を受け、特に檀家の少ない御本寺様におかれては、やむなく拝観止めをせざるを得ず、収入が激減している現状です。山主老師におかれても修行僧の感染防止にご腐心されながらの僧堂運営には、大変なご心労をおかけする日々だったことと思います。

現在は非常事態宣言も解除となり、外出自粛の生活から「新型コロナウイルスと共存の新しい生活様式」を私たちも模索し始めている現状です。御本寺様におかれてもこれまでの年間行持は末寺や関係寺院の随喜のない中ではありましたが、山内にて肅々とお務め頂いており、修行僧も元気に修行に励んでいる現状です。

また、役寮人事では、これまで修行僧の指導にご尽

力戴いた後堂、単頭兩老師が任期満了で退任され、後継者の一日も早い就任を願っておりましたが、山主老師のご尽力により素晴らしい新役寮さんが次々と就任することになり安堵いたしている次第です。特に新後堂職に就任頂く福島県の安養寺住職、春日和光老師は、今春まで大本山永平寺維那をお務め頂いていた方ですので人一倍心強く思っています。それもこれも全て山主老師の御信望によるところと得心する次第です。

新型コロナウイルスの影響が今後どのようなようになっていくか予断を許さない昨今ですが、秋には熊野大権現大祭祈禱會、五十五世 得道芳髓大和尚二十三回忌、五十六世 紹悦興隆大和尚十七回忌法要を控えており、少しでも良い形で開催できることを念じつつご挨拶とさせていただきます。

正法寺末寺護持会会長 願成寺 芳川春彦



御挨拶

正法寺 山主 盛田正孝

未曾有の先行き不安の中、生き方そのものが変らざるを得ない時です。その様な時でも常に正法寺の為に御尽力頂いている末山法類の方々、並に近年當山の為に、お心を寄せて頂いている各位に心より御礼申し上げます。

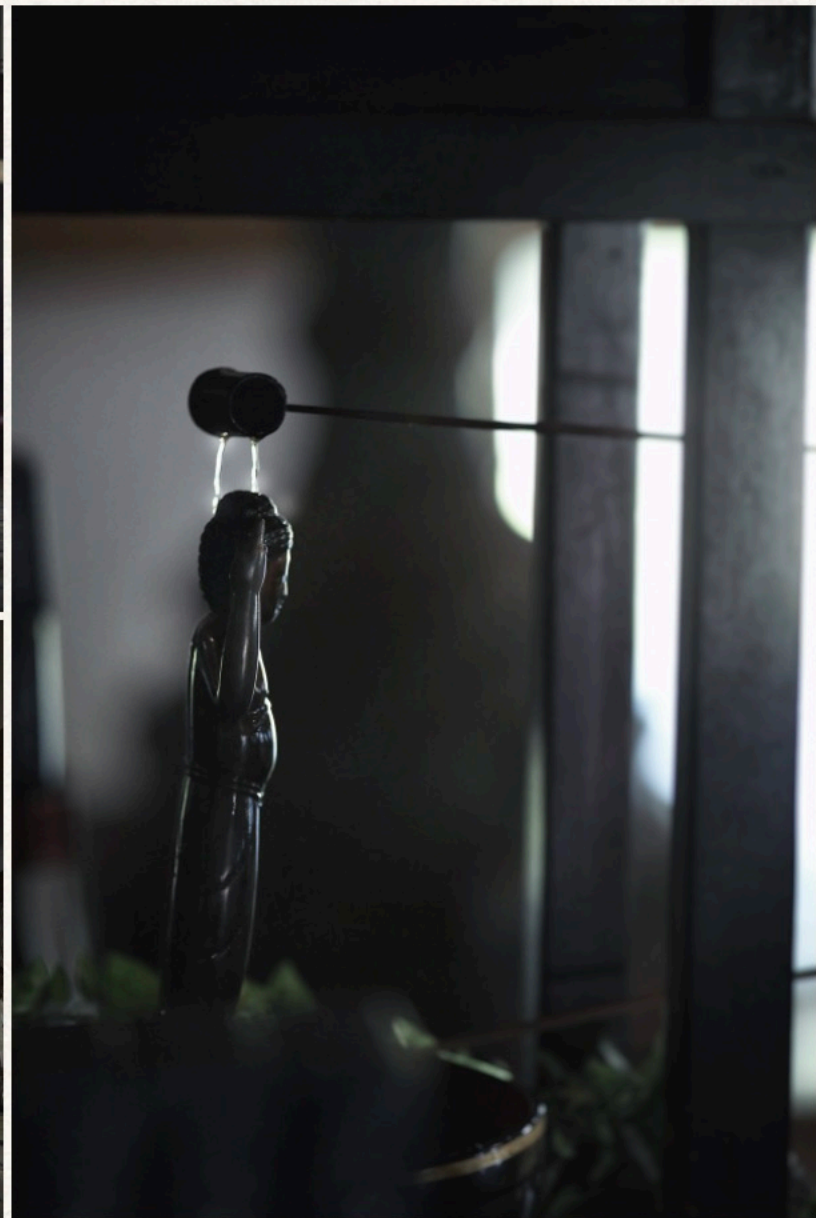
再開單して一期三年が過ぎ、又新たな気持ちで修行する時、高祖大師の「徳の顯るに三重あるべし。先ずは、その人、その道を修するなりと知らるるなり。次にはその道を慕う者出で来る、後には、その道を同じく学し同じく行ずるなり。是れを道徳の顯はると云うなり」と。これ道場の有り様であり、又願いでもありません。この親訓は私にとりまして、目の前に立ちただかる大きな杭の様なものでありますが、同時に杖となるもので御座います。

皆様の御指導を切にお願い申し上げる次第で御座います。

山主老師 動静報告

- 一月十一日 大本山總持寺 御直末会 年賀拜登
於 大本山 總持寺
- 一月二十三日 大本山總持寺 顧問会 年賀拜登
於 大本山 總持寺
- 三月十一日 宮城県徳本寺 本堂落慶法要 焼香師
於 宮城県 徳本寺
- 三月十四十五日 末寺 宮城県長谷寺 晋山結制 西堂・白槌師
於 宮城県 長谷寺
- 五月九日十日 栃木県長谷寺 晋山結制 西堂・白槌師
於 栃木県 長谷寺





釋尊涅槃會

二月十五日(土)、山主老師導師のもと、法堂東序室中に掲げられた涅槃図前にて、「釋尊涅槃會」が執り行われました。当日は有志御寺院にも随喜頂き、山内役寮・大衆と共にお釋迦様の遺徳を偲びました。

今年、JR東日本「行くぜ、東北。SPECIAL冬のごほうびキャンペーン」と連携し、二月二十日～三月三十一日まで涅槃図の特別公開を期間延長し行いました。この冬は暖冬で、例年に比べ積雪が少なかつた事もあり、昨年の同時期に比べ約2.5倍の拝観者が来山されました。



大梅拈華山 圓通 正法寺

涅槃圖

Nirvana

冬の特別公開

公開期間 2020年1月20日(月)~3月31日(火) 9:00-16:00

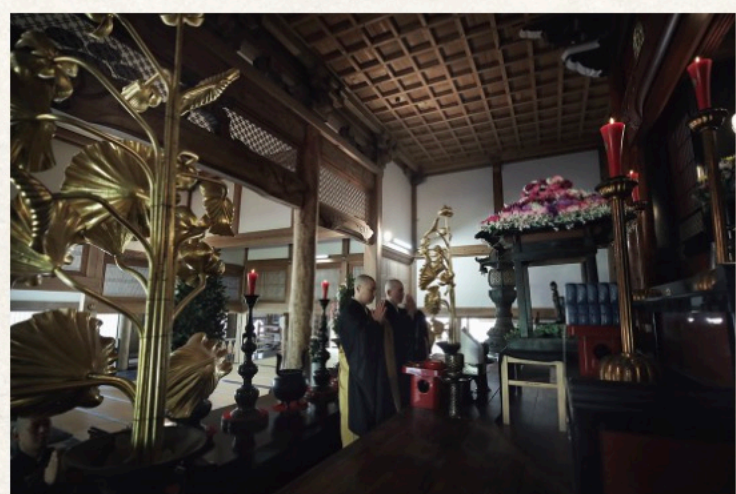
通常 2月1-15日の期間のみ、法堂東序の羅刹「室中」に掲げられる涅槃図。この冬、期間を延長し特別公開致します。観覧は無料。観覧5メートルの大作を堪能して下さい。

公開期間 2020年1月20日(月)~3月31日(火) 9:00-16:00

※2月1日~15日(土) 午後1時30分より 法堂東序 正法寺 法堂東序「室中」に掲げられる涅槃図。観覧は無料。観覧5メートルの大作を堪能して下さい。

※2月15日(土) 午前10時30分より 法堂東序 正法寺 法堂東序「室中」に掲げられる涅槃図。観覧は無料。観覧5メートルの大作を堪能して下さい。

〒980-0822 大梅拈華山 法堂東序 正法寺 〒980-0822 大梅拈華山 法堂東序 正法寺 〒980-0822 大梅拈華山 法堂東序 正法寺



佛前結婚式

令和二年五月二十三日(土)、山主老師式師のもと、紺野良訓さんと田頭美穂さんの佛前結婚式が厳かに當山法堂にて執り行われました。当初は新郎新婦の知人友人等、多くの方々に御列席頂く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大により、両家親族のみ御列席で行われました。両家の末永い御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。

花まつり(釋尊降誕會)

令和二年五月八日(金)、「釋尊降誕會」を山主老師導師のもと修行致しました。

今年、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、一般参詣者の参列は急遽中止と致しまして、山内役寮、大衆のみで修行致しました。三佛忌差定にて如法に執り行い、山内僧侶全員で灌佛し、お釋迦様の誕生をお祝い致しました。

来年の花まつりは、これまで通り檀信徒や一般参詣者と共にお釋迦様の誕生をお祝い出来る事を願います。





令和二年

夏制中 首座法戦式

『従容録』第七則「菓山陞坐」

4月15日(水)より首座 斗ヶ澤祥治(岩手県4番 長松寺徒弟)、書記 伊藤裕磨(岩手県120番 菅生院副住職)、辨事 花田凜基(青森県7番 海蔵寺徒弟)を中心に、夏制中期間に入りました。

入制に際し、4月15日に首座入寺式、法堂人事行禮、僧堂人事行禮、土地堂念誦、山主老師導師のもとで夏安居の無事をお祈りする法會、楞嚴會啓建がそれぞれ修行されました。

5月18日には本則行茶が修行され、山主老師より『従容録』第七則「菓山陞坐」について提唱を頂きました。翌日19日は首座法戦式が修行されました。今年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、山内役寮、大衆のみでの法戦式となりましたが、十人の問者と気迫溢れる問答を交わし、見事説破致しました。

法戦式は無事に修行致しましたが、制中期間はまだまだ続きます。このような時節であるからこそ、弘法利生を志し真面目に丁寧に修行して参ります。



當山開祖 無底良韶禪師 開山忌

六月十四日、毎年恒例の當山開祖無底良韶禪師開山忌が修行されました。本年は當山五十五世得道芳髓大和尚(大本山總持寺 独住第二十二世 大環正応禪師得道芳髓大和尚)の二十三回忌、當山五十六世 紹悦興隆大和尚の十七回忌の年という事もあり、先住忌を併修する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い先住忌は延期し、山内役寮、大衆で開山忌のみ修行致しました。前日十三日に行われた「連夜献湯調經」は、僧堂役寮 木村法道が導師を勤めました。

翌朝、朝課罷に行われた「献粥調經」は海野義範布教師が導師を勤めました。その後、10時30分打ち出しで「正當献供調經」を山主老師が導師を勤め、二日間の行持を無事に厳修致しました。

尚、延期致しました先住忌は、現時点では十月十六日に毎年行われている「熊野大権現大祭祈禱會」に併せて執り行われる予定です。

新任役寮上山



正法寺専門僧堂 侍眞
佐々木 将斗
(岩手県 第123番 寶城寺住職)

令和2年5月27日、岩手県宝城寺 佐々木将斗住職が僧堂配役「侍眞」として上山し、入堂の拜が行われました。佐々木侍眞には法要全般を執り仕切って頂くと共に、修行僧に対して法堂進退の指導を中心に御助力頂きます。



正法寺専門僧堂 監事(准師家)
松森 弘隆
(岩手県 第119番 金性寺住職)

令和2年6月4日、岩手県金性寺 松森弘隆住職が僧堂配役「監事」として上山し、入堂の拜が行われました。松森監事は平成25年1月18日に「准師家」分上を受け、曹洞宗師家会の事務局も担っています。曹洞宗宗務庁との事務的な窓口を中心に、修行僧の監理を執り仕切って頂く所存です。



正法寺専門僧堂 後堂(准師家)
春日 和光
(福島県 第86番 安養寺住職)

令和2年6月13日、福島県第86番 安養寺 春日和光住職が上山し、山主老師より「後堂」としての役寮辞令交付が行われました。春日後堂は平成28年5月～令和2年5月まで、大本山永平寺「維那」として修行僧の指導をし、令和2年2月6日には「准師家」分上を受けました。正法寺専門僧堂に於いては、佛道修行の最高責任者として御尽力頂きます。

役寮送行

正法寺専門僧堂 單頭 柴田 淳一
(岩手県 第49番 廣澤寺住職)

専門僧堂再開單より、單頭として御尽力頂いておりました柴田淳一老師は、任期満了により令和2年3月28日に送行致しました。送行後は自坊の護持に勤められます。

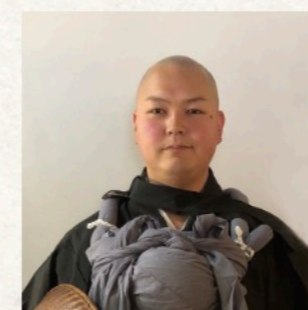
正法寺専門僧堂 後堂 渡邊 了英
(宮城県 第240番 天性寺住職)

専門僧堂再開單より、後堂として御尽力頂いておりました渡邊了英老師は、任期満了により令和2年3月26日に送行致しました。送行後は自坊の護持に勤められます。



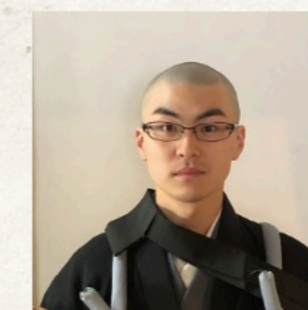
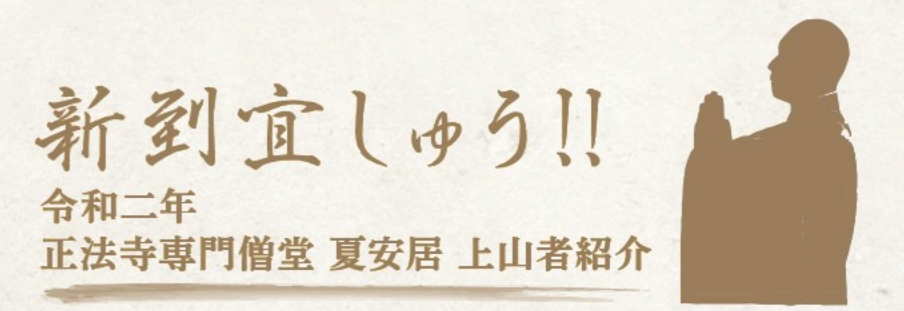
中澤 幸久
(栃木県 第120番 璉光院 従弟)

日々、行動の意味を考える様に心掛け、修行生活を丁寧に行います。



高橋 万理
(宮城県 第464番 長照寺 従弟)

一挙手一投足に仏様の心が現れるように、精進いたします。



坂本 矩崇
(青森県 第59番 春洞寺)

仏道に従って修行をし、僧侶としての考えや心を身に付けたい。

茅葺 探訪

Vol.04

出羽三山神社 三神合祭殿

【出羽三山と修験道】

古くから人々の信仰を集める出羽三山神社。出羽三山は羽黒山、月山、湯殿山の総称で、明治元年(一八六八年)三月、明治政府により神佛分離令が出されるまで、*神佛習合の権現様をお祀りする修験道の山でした。それぞれ羽黒山では聖観世音菩薩(佛)・伊弉波神(いづはのかみ)・産土神)・稻倉御魂命(いなぐらのみたま)・穀物神)、月山では阿弥陀如来(佛)・月読神(つきよみ)・農耕神)、湯殿山では大日如来(たみ)・大山祇神(おおくま)・山の神)・大己貴命(おほのお)・(建国神)・少彦名命(すくなひなこ)・(医薬神)がお祀りされております。

出羽三山の歴史は羽黒派古修験道の開祖 能除仙(のぞきせん) (五九三年)に始まり、能除仙は崇峻(すげん)天皇の第三皇子とされています。蘇我馬子(すそのみこ)により父である崇峻天皇が暗殺された事から宮中を脱出し海路で北に向かいました。現在の山形県鶴岡市に上陸した後、三本足の八咫鳥(やたがらす)に導かれて羽黒山に登上し羽黒大権現を感

得し出羽三山を開闢(ひらく)したと伝えられます。

能除仙は大峰(おほね)修験や熊野修験の開祖 役小角(えきせかく)より以前の方で、修験道の最高の法儀である柴燈護摩(さいとうごま)は能除仙より役小角に授けられたという伝承から、「羽黒派古修験道」と称されます。

修験道は、古来の山岳信仰が佛教に取り入れられた日本独自の山の宗教で、修験道の実践者を修験者や山伏といえます。修験道は神道・密教・陰陽道・道教等を取り入れ、それぞれの教説や教義と習合して成立しています。その為、独自の教義や教法はなく、あくまでも目的を達成するための手段と方法を重んじている事から、「宗」ではなく「道」を用いるそうです。

*日本古来の神々の信仰(神道)と伝来した佛教信仰が融合した宗教思想で、その起源は奈良時代にまで遡る。



高さ22.5mの巨大な羽黒山大鳥居



【出羽三山神社】

元禄八年(二六九五年)、由利郡の矢島の領主生駒讃岐守(なまがき)が寄進したと伝わる羽黒山参詣道の入口にある「随神(すいじん)門」。明治の神佛分離以前は仁王門と呼ばれ、仁王(におう)像・左大臣・右大臣が鎮座していたそうです。門より先は出羽三山の神域となり、羽黒山山頂に至る約2kmの参詣道は石段数二四四六段、樹齢三百〜六百年の老杉が生い茂ります。参詣道一の坂の登り口左手に国宝「羽黒山五重塔」が建っております。

山頂にある「出羽三山神社参集殿(さんしゅうでん)」と「霊祭殿(れいさいでん)」の間に、平成二十九年七月に竣工した「千佛堂」があります。堂内に安置されている佛像約二五〇軀は、かつて境内にあった御堂や寺院に祀られていたもの。羽黒山はかつて「羽黒山寂光寺(じやくこうじ)」と称し、一山は佛教で奉仕していたそうです。

【国指定重要文化財 出羽三山神社三神合祭殿】

出羽三山神社最大の建物が、平成十二年(二〇〇〇年)に国の重要文化財に指定された「三神合祭殿(さんじんがっさいでん)」です。羽黒派古修験道独自の合祭殿造りと称す社殿で、桁行(桁た) (間口) 24.2m、梁間(はりま) (奥行) 17m、棟高(むねたか) (屋根の高さ) 28m、屋根の厚さ最大2.1m、正に日本最大級と言える豪壮な茅葺屋根の建築物です。主に杉材を使用し、現在の合祭殿は文政元年(一八八八年)に完成したそうです。

内部は総朱塗りで、一般的な社殿建築とは異なり、一棟の内に拜殿と本殿とが造られております。月山、湯殿山の二山は冬期間雪で拜登出来ない為、羽黒山の三神合祭殿に合祀(ごうじ)されておられ、かつては三山の本地佛、阿弥陀如来・聖観世音菩薩・大日如来もこちらにお祀りされていたそうです。

しかし、明治の神佛分離で出羽三山は神社となり、祀られていた佛像佛具の殆どが下山しました。山形県酒田市に住む佐藤泰太良翁はそれらの佛像を蒐集(しゅうじゅう)し、安置し、子孫の佐藤完司氏は昭和四九年(一九七四年)、その全てを出羽三山神社に奉納されたそうです。

1. 山頂へと続く約2kmの参詣道。総石段数は2446段。
2. 参詣道途中にある平将門創建と伝わる国宝 五重塔。現在の建物は応安5年(1372年)再建。
3. 千佛堂内部。廊下を挟んで両側に、かつて諸堂に祀られていた佛像約250軀が安置されている。

2	1
3	

4		
7	6	5

4. 日本最大級の茅葺屋根の三神合祭殿外観。
5. 現在茅葺屋根の葺き替え作業中。
6. 厚さ最大2.1mの茅葺き屋根。
7. 社殿内部。中央に掲げられる扁額は、副島種臣による御染筆。

出羽三山神社 三神合祭殿

〒997-0292 山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7
 拝観時間 / 8:30~16:30
 拝観休日 / ●4月(除雪状況による)~11月 木曜定休
 ●7月~8月 無休



出羽三山神社

